

第1回常任委員会議事要旨

日時	平成29年4月17日（月）午後6時から午後8時20分
場所	県民総合運動公園陸上競技場内2階会議室
出席者	佐藤・住吉・山田・上田・笠・齋藤（理事6名） 永田・太田黒（事務局2名）
会 議 内 容	
1	開会
2	あいさつ※丸山副会長が欠席のため、省略
3	議長選出 議長：佐藤理事長
4	報告
	<p>(1) SC 全国ネットワーク総会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月1日（水）に開催されたSC 全国ネットワーク総会について報告。 ・特に、クラブの登録制度について、日体協の方向性としては、各都道府県体協内に協議会事務局を置き、アドバイザーの配置についても位置付けたい意向もあることを説明した。しかし、各都道府県によっては、連絡協議会の事務局体制や支援体制も現状では違うことから、全国一律の動きはなかなか難しい現状があることも補足した。 <p>(2) 平成29年度本協議会加入クラブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の新規加入クラブ及び退会クラブについて説明。 ・県内クラブ交流大会・研修会事業への参加も可能にしているが、本協議会未加入クラブに対する何らかの手立てが必要かどうか、検討が必要という意見も一部あった。 <p>(3) 平成29年度研修会の実施について</p> <p>①SCS 研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月2日（土）ウイングまつばせで実施する旨説明。 ・齋藤理事から、九州ブロッククラブネットワークアクション in くまもとの前年ということもあるため、プレ事業として実施するイメージで、事例発表を複数する形などを導入する旨説明。 ・テーマは、「震災復興」「小学校運動部活動の社会体育移行」とその他クラブの新たな事例や参考となる内容を入れる予定であり、正式には4月20日（木）に行われる南ブロック研修会実行委員会で協議される予定である。 ・詳細は、次回理事会にて説明がある旨説明。 <p>②ヒューマンエラー防止研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月24日（土）植木文化センターで実施する旨説明。 ・同日午前中に評議員会、午後から研修を行うスケジュールで申請を行う旨説明。 ・予算については、日体協から35万円程度振り込みがある予定であるが、事業実施の2ヶ月程度前に申請書を出す必要があるため、事務局から提出する旨説明。 ・日体協公認有資格者の義務研修となるが、参加対象者は、会場のキャパシティを考慮し、クラブ関係者とする旨説明。

5 議事

(1) 平成28年度事業報告について (2) 平成28年度決算について

- ・一括して説明。

- ・決算について、支援金がイレギュラーな収入であり、3月末時点で1,427,071円となった旨説明。

—協議の結果—

- ・支援金も本協議会の口座に入れていただいたため、1つの決算書となっているが、わかりづらいとの指摘が入る可能性があるため、わかるような書類（差引簿等）をつけた方がよいとの指摘があった。

(3) 平成29年度事業計画（案）について (4) 平成29年度予算（案）について

(6) 今こそ絆！復興事業の実施について

- ・一括して説明。

- ・復興事業に係る予算について、前回理事会にて、ブロック別復興事業への補助金を交付してはどうかとの意見だったため、各ブロックに15万円とした旨説明。

- ・4月17日現在で、クラブリンク JAPANから約95万円の振込みがあった旨説明。

—協議の結果—

- ・復興事業3事業について協議。

○震災発生後からこれまで、そしてこれからをまとめた冊子を報告書として年度内に作成する。作成部数は1,000部を予定。クラブのPRも含め実施することで理事会に提案。

(国・日体協・各都道府県・各都道府県協議会・県内クラブ・支援金をくださった団体等に配付)

予算は20万円から50万円に増額、さらに郵送費として6万円追加する。

○ブロック別復興事業補助金は、対象期間を平成29年4月1日から平成30年3月31日とし、交付は評議員会後に行うこととする。詳細は理事会で審議する。

○研修会講師については、4月20日の実行委員会で決め、それに応じて予算を修正することで了解を得た。

○第7回県内クラブ交流大会に招聘する著名人については、RKKアナウンサーを予定するが、何を目的に、何をしてもらうのかが不透明であるため、中央ブロックで協議し、提案いただく旨確認。

(5) 第7回県内クラブ交流大会について

- ・第7回大会について説明。復興がテーマであるが、種目等に反映されていないため、4月29日（土）に協議する旨説明。

—協議の結果—

- ・ジュニア・キッズサッカーやグラウンドゴルフは例年実施しており、それぞれ数もかなり集まる状況であるため、平成30年度以降はそれぞれ種目独自の交流戦を協議会として実施してはどうか。あくまで県内クラブ交流大会は交流をメインとするため、内容は毎年考えて実施していくべきであることを確認。

6 その他

(1) 小学校運動部活動の社会体育移行について

- ・各市町村の進捗について資料提供。

- ・今後も各クラブや各地域で動きがあれば、本協議会内でも情報共有をする旨説明。

7 閉会